

- 1 議員は2期8年でローテーション
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

八王子・生活者ネットワーク はつらつレポート

〒192-0066 東京都八王子市本町3-4TRYビル3F
TEL: 042-623-8802 FAX: 042-627-4507

Email: hachiouji-net@nifty.com
HP: hachiouji.seikatushame

八王子・生活者ネットワークは、
2名の女性議員をもつローカル
パーティー（地域政党）

学びあいの場 政治カフェ



沖縄米軍基地問題から はじまった

政治カフェ開催のきっかけは、
沖縄辺野古のアメリカ軍新基地
建設問題でした。沖縄の人たち
がアメリカ軍の基地があること
によって被ってきた数々の悲惨
な出来事は、他人事ではありません。

2016年12月13日、沖縄で
オスプレイが墜落しました。そ
の原因が特定されておらず、構
造的に事故率が高いままなのに、
日本政府はわずか6日で飛行再
開を承認しました。なぜこま
で、沖縄の人たちの声を無視し
て日本政府はアメリカの軍事政
策に追従するのでしょうか。

政治カフェは新聞やニュース
を見て1人でもやもやしている
のではなく、身近な人たちと社
会の事、政治のことを率直に話
し合える場です。3か月に一度、
自由に集まった10人前後の人

2015年からはじまった生活者ネットワークの政治カフェは、
毎回テーマと1冊のテーマ図書を参加者で決め、その次の
回に感想や考えたことを話しあいます。
いつから、どんな考えのものでも、日本の政治は動いてい
るのだろうか？市民の声が届かないのはなぜ？知りたいこ
とはいっぱいあります。

歴史を学び、 戦争の構造を知る

沖繩出身の島袋義弘さん（八
王子・生活者ネットワークの会
員）を中心に沖繩の歴史、基地
の現状を知るというテーマで始
まり、まず、日本の憲法を上回
る日米地位協定の存在を学びま
した。

第2回は多くの市民がいら
ないと思っているのに、なくな
らない基地と原発を支える構造に
ついて話し合い。

この国会では安保法制が
強行採決され、日本も戦争がで
きる国に。

そこで第3回からは世界で起
きている戦争、紛争の実態、日
本の姿勢がテーマになり、日本
は他国からどう見られているの
か知りました。そして日本の起
こした戦争の歴史を学び太平洋
戦争をきっかけに日本の軍事戦
略はアメリカの傘の下に入るこ
とと決め、独自の外交を捨てた
経過を知ったうえで、これから
日本は北朝鮮、韓国など東アジ
アの国々とのような関係をつ
くるのか、参考にした本の中か
らいくつかの提案を学びました。

第6回は安倍政権を支える日
本会議をテーマに。

あなたの近くで 政治カフェを

日常目にするさまざまなニュー
スについて、なぜ起こるのか、
私たちの日常とどうつながるの
か、少しずつ視野を広げながら
話し合いと相互理解、尊重の社
会に近づくために、何が必要か
学んでいけたらと考えていま
す。まずは政治カフェにご参加
ください。そして皆さんの地域
でも政治カフェを開きませんか。

★次回は、はじめてニュータウ
ンエリアで開催します。

4月19日（水）14時～16時
しよら亭（南大沢2-18-6）
テーマ図書は①日本はなぜ、
「基地」と「原発」を止めら
れないのか
本は読んでいなくても参加で
きます。※要申込み

①日本の戦争地図 藤田泰生著 集英社新書 ②日本
はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか
岩間 隆雄著 集英社新書 ③日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ④日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑤日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑥日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑦日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑧日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑨日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書 ⑩日本の戦争
史 藤田泰生著 集英社新書



活動トピックス



11/21 地域福祉推進拠点石川を視察



11/7 立憲ネットワークで沖縄を視察



12/10 浅川地下壕見学



12/10
ウィークエンドフォーラム
八王子空襲の体験をさく

インフォメーション

代理人運動のはじまり 生活クラブから生活者ネットへ —一合所から始まった政治参加—

3月26日（日）
14:00～16:00
お話し：河野栄次 さん
(生活クラブ生協・東京 顧問)
会場：北野市民センター（予定）
参加費無料
※事前に申し込み下さい

春休みのゆる はつらつタイム

3月30日（木）
14:00～16:00
場所：カフェこすもす
八王子市片倉町 440-15
JR片倉駅徒歩3分
京王片倉駅徒歩5分

4月3日（月）
12:00～15:00
場所：デポー八王子みなみ
八王子市別所 1-69-5
お子さんも一緒にどうぞ☆

なみりとう
話そう
前田
よしと
話そう

お申し込み・お問い合わせ先 八王子・生活者ネットワーク
TEL: 042-623-8802 FAX: 042-627-4507

はつらつ4コマ

作：なるみゆり
「注目の都議会」

127人
都議会

八王子市議会報告

(一般質問)

生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会 議会報告



なるみゆり

性の多様性は当たり前 LGBTからSOGIへ

セクシャルマイノリティの一般質問から一年。市の図書館でテーマ展示を行うなど、変化が見られています。最近ではセクシャルマイノリティを現す「LGBT(レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)の頭文字」というカタゴリーにはめられる特殊な人というイメージの呼び方はなく、SOGI (Sexual Orientation 性指向・Gender Identity 性自認)と誰にでもあてはまるものだという考えの呼び方に変えていくことも当事者から求められるようになってきました。このSOGIの考えのもと、さらに理解を深めるために、改めて質問しました。

もより一人ひとりが互いの違いを認め尊重しあう土壌づくりを進めていく。

これまではいいものとして扱われ、教職員にもまだまだ正しい理解が深まっていないのが現状。セクシャルマイノリティに特化した研修の充実が必要です。そのほか、パートナーシップ制度の導入について提案しました。

八王子市歌 時代遅れの歌詞をみなおす

1936年、市制20周年を記念し、北原白秋作詞、山田耕筰作曲で作られた八王子市歌は、今まで市民にあまり馴染みはありませんでした。これが市制70周年を機に学校などで取り上げられるようになり、問題となったのは1番から3番まで繰り返される「奮へ」という歌詞です。*ますらを、雄まし男、勇まし男、劉義謙、手弱女

時代にあわない、現在の郷土に合わないものになっている。これは歌うということではなく、歴史の資料として残してはどうか。

80年間歌い継がれており、今後も式典等の節目で歌い継ぎ、大切に守ってきたい。

女性団体(賛同5団体、賛同者121名)からも市長、教育長あてに市歌を歌わないようにという要請文書が提出されている。歌詞に関して、男女共同参画の観点から問題がないのか議論していたが、答えにならない回答のみで、歌詞の内容についてしっかりと議論されていないことがわかりました。市制70周年を機に市歌も見直す時期ではないでしょうか。

★その他、第3次農業振興計画の

推進にあたって具体的なスケジュールの中で着実な推進を求めました。また、大量残土の谷戸埋め立てに依拠する川町スポーツパーク計画予定地のオオタカ生息について、市は情報を得ていたということを確認しました。その他オニヒカゲワラビや、ナガバノイタチシダという稀少な植物の生息の情報も確認していることも質問を通して明らかになりました。これらの問題については今後も追っていきます。



前田よし子

まちづくりの推進を 地域単位で

集まりやすい地域づくりを、介護保険の新総合事業において、高齢者の生活支援をコーディネートする生活支援コーディネーターと、社会福祉協議会が担っている。地域のあらゆる困りごとを解決に導くコミュニケーション・ソーシャルワーカー(CSW)、その拠点である地域福祉推進拠点の配置について、現状と課題は?

最優先に、高齢者あんしん相談センター(日常生活圏)に1人計21人を配置すべき。地域福祉推進拠点は、まずは大きな6圏域に1ヶ所(計6ヶ所)を整備すべきと考えるのがいいか。

生活支援コーディネーターは現在6名配置。今後の配置については、地域福祉推進拠点の整備状況、生活支援コーディネーターの活動による地域状況、社会福祉協議会の意見などが検討される。拠点の整備は、日常生活圏域ごとという計画のため、地域状況を勘案して検討する。

将来的には、生活支援コーディネーターと同様CSWも日常生活圏域に1人必要と考える。生活支援コーディネーターとCSWの役割の明確化と定義づけをし、今後の配置の計画に生かすべきと考えるのがいいか。

CSWは地域福祉推進拠点を開設する際には1名配置を目指しているが、地域福祉推進拠点整備については、開設した石川の現状を踏まえ、次期計画の中で議論を深めてゆきたい。

現状は複雑で曖昧。どのような仕組みが使いやすいかわかりやすいか。次期計画がより良いものとなるよう、今後も市民目線で提案を続けてゆきます。

インターネット社会への 対応

急速に進むネット環境整備。子どもを取り巻くインターネット利用の危険性。子どもを見守る地域としての問題の共有が必要など、目に見えない現代社会特有のコミュニケーションについて質問。

公設でWi-Fi環境を整えたタイミングで、情報漏えいのセキュリティや、青少年のインターネット環境整備法によって、子どものスマホなどフィルタリングが保護者に義務付けられていることなど、注意喚起や啓発を行うよう求めました。



リレーコラムでこれまでの活動を紹介します。

八王子ネット30周年特別企画

HOTホットコラム

①市民の政治参加30年

初代事務局長 鈴木生代

高尾山の緑や飲み水が危ない。正確な食品表示を。ゴミもない公園がほしい。通園路のガードレールが危ない。もつと救急車を。生活クラブ生協の共同購入活動を通して、私たちは生活すべてが政治とつながっていることに気づき、それまで政治と無縁だった、数えきれない多くの素人が自分の言葉で語り、初めて仲間の一ひとりで市政に送り出した時の「ひとこと提案」と呼ぶみんなの声の一部です。



1990.10.21 横田基地 ヒューマンチェーンに生活クラブとともに参加

フードバンクの衝撃

突然「フードバンク八王子」を立ち上げ、よたよたと活動を始めたら半年が経ちました。この期間が、驚きの連続でした。食料を受け取りに来た人を前にして「これは一体どうしたらいいんだろうか?」と、答えのない答えを探して、途方に暮れて、しばしば言葉の失いました。

フードバンクとは、賞味期限を残しているにもかかわらず流通の問題などで破棄される食品を寄贈して頂き、それを食に困っている方々に提供するいわば「食品ロスと困窮者支援を結びつけるシステム」です。従って、まず「困窮者に到達すること」が大前提です。そうしなければ、せっかくの食料を提供する先を見つづけることができないわけですから。この問題を、我々は八王子市と情報連携することで解決しました。しかし、これは(当